

# 令和2年度 八峰町スポーツ文化栄誉賞授与式

3団体17名を表彰



2月20日、峰栄館にて令和2年度八峰町スポーツ文化栄誉賞授与式が行われました。スポーツや文化部門において、優秀な成績を取った方々が表彰され、今年度は個人17名、3団体が受賞しました。  
例年であれば、団体賞を受賞した全員から参加していたいましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年は人数を制限しての開催となりました。受賞された方々を紹介します。(敬称略)

## 町長特別賞

### ◆文化栄誉賞◆

**峰浜小学校**  
第59回全国俳句大会ジュニアの部  
一茶まつり 全国小中学生俳句大会  
団体受賞  
学校賞

## 教育委員会賞

### ◆文化栄誉賞◆

**門脇 美咲** (能代西高等学校3年 吹奏楽部)  
第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会  
優秀賞

## ◆スポーツ栄誉賞◆

**笹本 杏** (峰浜小学校2年 八峰BC)  
第26回東北小学生バドミントン大会秋田県予選会  
第25回全県小学生バドミントン選手権大会  
第1位

**後藤 優月** (八森小学校4年 八峰BC)  
**三輪 直汰** (八森小学校4年 八峰BC)  
第26回東北小学生バドミントン大会(ダブルス)  
第1位

**金田 海音** (八峰中学校2年 野球部)  
**菊地 拓海** (八峰中学校2年 野球部)  
**西巻 嵩和** (八峰中学校2年 野球部)  
第1位

**川尻 未来** (能代高等学校1年 空手道部)  
令和2年度秋田県高等学校新人体育大会空手道競技  
女子団体 形  
第1位

**菊地 海凪** (能代高等学校2年 空手道部)  
令和2年度秋田県高等学校新人体育大会空手道競技  
女子団体 組手  
第1位

## 小中学生奨励賞

### ◆文化栄誉賞◆

**成田 絆夏** (八峰中学校2年)  
令和2年度中学生の「税についての作文」  
秋田県納税貯蓄組合連合会会長賞

## ◆スポーツ栄誉賞◆

**今井 海里** (峰浜小学校6年 八峰BC)  
**齋藤 星碧** (八森小学校6年 八峰BC)  
第26回東北小学生バドミントン大会  
秋田県予選(ダブルス)  
第3位

## 八森ブルーウエーブ(団体受賞)

高円宮賜杯第40回記念全日本学童軟式野球  
マクドナルド・トーナメント秋田県代替大会  
準優勝

## 監督 岩城 駿

コーチ 三浦 克己/佐藤 俊介  
マネージャー 伊藤 一八  
小笠原 尋/阿部 亘/山本健志朗  
梅田 麟/阿部 權斗/小山 蒼空  
須藤 玲/山本虎之介/佐藤空之輔  
齋藤 星碧/伊藤 星七/西澤 藍大  
須藤慎之助/岡本 湊斗/佐々木悠来  
成田 陽/門脇 晴陽/小笠原 權  
日沼 友翔/日沼珠絆来

文部科学大臣杯第12回全日本軟式野球大会  
日本生命トーナメント秋田県選抜大会  
兼秋田県都市選抜強化大会  
優勝

**今井 彩奈**  
(八峰中学校3年 バスケットボール部)  
2020年度全国U15バスケットボール  
選手権大会秋田県予選  
優勝

**木藤 皓琉**  
(能代松陽高等学校2年 陸上競技部)  
令和2年度秋田県高等学校新人体育大会陸上競技  
男子100m、4×100mリレー  
第1位

**大高 奨平** (能代高等学校2年 軟式野球部)  
**中山 由宇** (能代高等学校2年 軟式野球部)  
第65回秋田県高等学校軟式野球秋季大会  
優勝

**斉藤 心** (能代高等学校2年 空手道部)  
令和2年度秋田県高等学校新人体育大会空手道競技  
女子団体 形・組手、女子個人組手59kg級  
第1位

**川尻 未来** (能代高等学校1年 空手道部)  
令和2年度秋田県高等学校新人体育大会空手道競技  
女子団体 形  
第1位

**菊地 海凪** (能代高等学校2年 空手道部)  
令和2年度秋田県高等学校新人体育大会空手道競技  
女子団体 組手  
第1位

監督 田口 一忠  
コーチ 藤嶋 恒一/斉藤 嘉裕  
マネージャー 工藤 茂樹  
田口 圭介/工藤 航平/米森 蒼真  
中山 知優/斉藤 蔵磨/芹田 海輝  
藤嶋 凜/伊勢彪乃介/勝山 光  
木藤 大琥/佐々木淳之介/工藤 叶登  
長門 朝陽/薩摩 吉平/三浦 伶煌  
田口 爽介/高木 獅治

## 峰浜スピリッツ(団体受賞)

第18回東北学童軟式野球新人秋田県大会  
第3位



受賞者を代表して、町長特別賞を受賞した峰浜小学校の嶋田暖人さん、金平喜一さんが「俳句とともにあった学校生活がどれほど幸せで豊かだったかを嘯みしめ、これからも俳句の学校代表として、ふるさとの良きや大切な人との生活が伝わるような俳句づくりに取り組んでいきたい」と謝辞を述べました。